

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

平成 30 年 2 月 14 日 午後用

第 69 回 獣 医 師 国 家 試 験 学 説 試 験 問 題 (B)

注 意 事 項

1. 問題数は 80 問であり、解答時間は 2 時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを 1 つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1 問につき 2 つ以上マークした場合には、そのうちの 1 つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問81 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

81 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうち E 3 ☑を横線で、
81 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ず HB の鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……   

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

問1 嘔吐の予防・治療薬とその作用機序の組合せとして正しいのはどれか。

予防・治療薬	作用機序
1. メトクロプラミド	ムスカリン受容体拮抗
2. クロルプロマジン	ニューロキニン1型 (NK ₁) 受容体拮抗
3. グラニセトロン	セロトニン3型 (5-HT ₃) 受容体拮抗
4. マロピタント	ヒスタミン受容体拮抗
5. スコポラミン	ドパミン2型 (D ₂) 受容体拮抗

問2 ジギタリスとの併用に特に注意を要する利尿薬はどれか。

- a スピロノラクトン
- b トリアムテレン
- c ヒドロクロロチアジド
- d フロセミド
- e エブレレノン

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問3 抗ヒスタミン薬はどれか。

- a ジフェンヒドラミン
- b モサプリド
- c オンダンセトロン
- d エナラプリル
- e クロルフェニラミン

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問4 肝蛭の駆虫に用いられる薬剤はどれか。

- a トリクラベンダゾール
- b ビチオノール
- c フルベンダゾール
- d レバミゾール
- e ピランテル

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問5 ワルファリン中毒に対する治療薬はどれか。

- 1. アスピリン
- 2. クロピドグレル
- 3. シアノコバラミン
- 4. ヘパリン
- 5. ビタミンK₁ (フィトナジオン)

問6 豚の食塩中毒でみられる病変はどれか。

- a 大脳皮質の層状壊死
- b 神経細胞の中心性色質融解
- c 脱髄
- d 脳室拡張
- e 髄膜や大脳皮質内血管周囲への好酸球浸潤

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問7 犬の口腔内腫瘍に関する記述として正しいのはどれか。

- a 扁平上皮癌の転移はまれである。
- b 無色素性黒色腫はアルビノ動物以外には発生しない。
- c 黒色腫ではメラニン色素量が多いほど良性である。
- d 棘細胞性エナメル上皮腫は骨浸潤することが多い。
- e 線維肉腫は良性の組織形態でも浸潤性が強いことがある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問8 発症早期に主に腸陰窩上皮が傷害される腸炎はどれか。

- 1. 豚伝染性胃腸炎
- 2. 豚のロタウイルス病
- 3. 犬のパルボウイルス感染症
- 4. 豚流行性下痢
- 5. ヨーネ病

問9 細菌の薬剤耐性のメカニズムに関する用語として適当でないのはどれか。

- 1. オプソニン化
- 2. 修飾酵素
- 3. 分解酵素
- 4. 排出ポンプ
- 5. 膜透過性

問10 豚サーコウイルス 2 型に関する記述として正しいのはどれか。

1. 2 本鎖 DNA ウイルスである。
2. 核内封入体を形成する。
3. 鶏白血病ウイルスが同じ科に含まれる。
4. ウイルスゲノムは環状である。
5. 豚の感染症は「家畜伝染病予防法」に基づく届出伝染病である。

問11 ラブドウイルス科のウイルスが原因となる疾患はどれか。

1. 鶏の封入体肝炎
2. 豚伝染性胃腸炎
3. 牛流行熱
4. あひる肝炎
5. 鶏脳脊髄炎

問12 プリオン病に関する記述として正しいのはどれか。

1. 病原体は正常型プリオン蛋白質の構造異性体である。
2. 野生イノシシでは慢性消耗病が知られている。
3. 牛海綿状脳症（BSE）のヒトへの伝播は否定されている。
4. 猫ではプリオン病が知られていない。
5. BSE の潜伏期は平均 7 日である。

問13 日本の放牧牛において夏季に多発する疾患はどれか。

1. 放線菌症
2. 伝染性角結膜炎
3. リステリア症
4. エンテロトキセミア
5. 悪性水腫

問14 フルバリネート剤が予防に有効なみつばちの疾患はどれか。

1. アメリカ腐蛆病
2. ヨーロッパ腐蛆病
3. チョーク病
4. ノゼマ病
5. バロア病

問15 犬、雑種、雌、1歳齢。食欲不振、発熱、腹部圧痛がみられ、回復初期にび漫性の角膜混濁が観察された。最も疑われる疾患の原因ウイルス科はどれか。

1. アデノウイルス科
2. コロナウイルス科
3. レトロウイルス科
4. パルボウイルス科
5. エンテロウイルス科

問16 ある農場でめん羊が発熱した。発育鶏卵を用いて血液検体からウイルス分離試験を行い病原体が同定された。最も疑われる疾患はどれか。

1. 口蹄疫
2. 伝染性膿疱性皮膚炎
3. ブルータング
4. アデノウイルス病
5. マエディ・ビスナ

問17 拡張条虫 (*Moniezia expansa*) に関する記述として正しいのはどれか。

- a アリが中間宿主である。
- b 成虫頭節の吸盤後縁にラペットを有する。
- c 中間宿主体内で六鉤幼虫が擬囊尾虫に発育する。
- d 裸頭条虫科の条虫である。
- e 主に終宿主の胆管に寄生する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問18 鶏において *Leucocytozoon caulleryi* が第1代メロント (シizont) を形成する細胞はどれか。

1. 肝細胞
2. 血管内皮細胞
3. 腸管上皮細胞
4. 骨格筋線維
5. 赤芽球

問19 日本における乳児死亡率の求め方はどれか。

1. (生後4週未満の死亡数÷出生数) × 100
2. (生後4週未満の死亡数÷出生数) × 1,000
3. (生後1年未満の死亡数÷出生数) × 10
4. (生後1年未満の死亡数÷出生数) × 100
5. (生後1年未満の死亡数÷出生数) × 1,000

問20 食中毒と感染症またはそれらの原因菌に関する記述として適当なのはどれか。

- a ウェルシュ菌食中毒は生野菜の喫食を原因とするものが多い。
- b 黄色ブドウ球菌のエンテロトキシンは80℃、30分の加熱で分解される。
- c 日本におけるセレウス菌食中毒の事例では下痢型が大半を占めている。
- d サルモネラ食中毒は加熱不十分な魚肉が原因となることがある。
- e エルシニア菌による水系感染症が報告されている。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問21 自然毒による食中毒またはその原因に関する記述として正しいのはどれか。

- a イシナギの肝臓中に含まれる多量の不消化性ワックスが食中毒の原因となる。
- b オカダ酸は渦鞭毛藻が生産する麻痺性貝毒である。
- c 青梅やビワの種子には有毒成分のアコニチンが含まれている。
- d エゾボラの唾液腺にはテトラミンが蓄積していることがある。
- e トリコテセン系カビ毒の中毒では食中毒性無白血球症が報告されている。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問22 日本における生乳および牛乳の衛生管理に関する記述として適当なのはどれか。

1. 総合衛生管理製造過程の承認制度は導入されていない。
2. 牛乳の規格において大腸菌群は1 ml当たり5万個以下である。
3. 生菌数の測定はBreed法で行う。
4. 生乳の殺菌方法は超高温殺菌法が主流である。
5. LL牛乳は10℃以下での保存が必要である。

問23 食品を媒介して感染が起こるのはどれか。

- a ライム病
- b 日本脳炎
- c 結核病
- d ブルセラ症
- e クリプトコックス症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問24 ヒトへの感染がマダニによって媒介される人獣共通感染症はどれか。

1. ペスト
2. 炭疽
3. ニューモシスチス肺炎
4. エールリヒア症
5. 破傷風

問25 ラッサ熱に関する記述として適当なのはどれか。

- a 日本では検疫感染症に指定されている。
- b 南アメリカに広く分布する。
- c イベルメクチンが治療薬とされている。
- d 帰国者を含め、日本国内での発症事例はない。
- e ヤワゲネズミ（マストミス）がレゼルボアである。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問26 野兎病に関する記述として適切なものはどれか。

- 1. 原因菌は嫌気培養で分離する。
- 2. 東日本より九州・四国地方など西日本での発生が多い。
- 3. 野ウサギ肉を調理する際に感染することがある。
- 4. ヒトでは吐き気と激しい下痢が主症状である。
- 5. 治療方法は未だ開発されていない。

問27 レプトスピラ症に関する記述として適切なものはどれか。

- 1. 野ネズミは腎臓に病原体を保菌する。
- 2. 環境中の病原体は芽胞を形成して長期間水や土壌を汚染する。
- 3. 軽症型のレプトスピラ症をワイル病という。
- 4. ヒトへの病原体伝播にはマダニが必要である。
- 5. 1990 年半ば以降、我が国における集団発生が入浴施設で報告されている。

問28 ヒトの経口感染症に関する記述として誤っているのはどれか。

1. エキノコックス症は虫卵を経口摂取することで感染する。
2. 腸チフスの原因菌はヒトのみに感染し発症させるとされている。
3. コレラは海外渡航歴のない日本人では1970年以降発生していない。
4. リステリア症の症状は髄膜炎、敗血症、早産、流産などである。
5. 細菌性赤痢の症状は一過性の発熱、しぶり腹、粘血便などである。

問29 げっ歯類が感染環の形成に関与している人獣共通感染症はどれか。

- a 黄熱
- b ハンタウイルス感染症
- c ダニ媒介性脳炎
- d 鼻疽
- e リフトバレー熱

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問30 地球温暖化係数が最も小さいのはどれか。

1. 二酸化炭素
2. メタン
3. ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)
4. 三フッ化窒素
5. 六フッ化硫黄

問31 日本で発生したイタイイタイ病に関する説明として正しいのはどれか。

- a 腎臓に障害が起こる。
- b 出産経験のある女性に多発した。
- c 新潟県阿賀野川流域で発生した。
- d 主症状は腹痛である。
- e 原因物質は「水質汚濁防止法」の排水基準において検出されてはならない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問32 日本の環境基準に関する記述として適切なのはどれか。

- a 人の健康を守るために達成しなければならない最低限の基準である。
- b 地盤沈下についても定められている。
- c ダイオキシン類については定められていない。
- d 地域や時間帯により異なる基準が適用されるものがある。
- e 利用目的により異なる基準が適用されるものがある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問33 水道水およびその水質基準に関する記述として正しいのはどれか。

- a 日本における上水道の普及率は100%である。
- b ミルズ・ラインケ現象は原水を薬品処理する過程で観察される。
- c 一般細菌数の検査には標準寒天培地を用いる。
- d 給水栓における遊離残留塩素濃度の基準は通常「0.1 mg/ℓ 以上」とされている。
- e pH に関しては基準が定められていない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問34 下水に関する記述として正しいのはどれか。

- a 日本の下水の二次処理では大部分でオキシデーショントイッチ法（酸化溝法）または標準活性汚泥法が採用されている。
- b 「下水道法」において雨水は下水に含まれない。
- c 合流式下水道とは複数の市町村の下水を集めて処理するものである。
- d 下水道に排出する汚水に対して水質基準は定められていない。
- e 日本の下水道普及率は90%以下である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問35 生態学的研究に関する記述として正しいのはどれか。

- a 資料収集が困難である。
- b 研究期間が長くかかる。
- c 交絡因子の影響をしばしば受ける。
- d 観察単位は集団である。
- e 莫大な研究費がかかる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問36 受動的サーベイランスに関する記述として正しいのはどれか。

- 1. 特定の疾患の浸潤状況を把握するため、組織的かつ定期的に検査を行う。
- 2. 動物の所有者や獣医師などからの症例や疑い例の自発的な報告に基づく。
- 3. 検査対象とする家畜の抽出方法を事前に検討する必要がある。
- 4. 見かけ上健康な集団から罹患した個体を発見するために行う。
- 5. 多くの疾患を対象とすることはまれである。

問37 アフラトキシンに関する記述として正しいのはどれか。

1. エストロゲン活性を有する。
2. 摂取した動物に急性の神経症状が現れ、よろめき病と呼ばれた。
3. エンドファイト中毒の原因となる。
4. 家畜の配合飼料における許容基準は定められていない。
5. 1960年に英国において七面鳥の雛が大量に中毒死し、七面鳥 X 病と呼ばれた。

問38 農場 HACCP を導入する目的として最も適当なのはどれか。

1. 経済的利潤の追求
2. 一般衛生管理の省力化
3. 画一的な衛生管理手法の導入
4. 畜産物の安全性の確保
5. 休薬期間の短縮

問39 乳房炎に罹患した牛の乳汁で観察されることが多いのはどれか。

1. 体細胞数の減少
2. カゼイン濃度の低下
3. pH の低下
4. Na 濃度の低下
5. Cl 濃度の低下

問40 窒素肥料やふん尿を過剰散布した草地で栽培された牧草を牛に給与したところ、呼吸困難や起立不能で急死した。最も疑われる中毒物質はどれか。

1. エンドファイト
2. シュウ酸塩
3. 硝酸塩
4. 青酸
5. 有機リン

問41 犬の心電図でT波の増高（テント状T波）が生じる原因として適切なのはどれか。

1. 低カリウム血症
2. 高カリウム血症
3. 低カルシウム血症
4. 高カルシウム血症
5. 低ナトリウム血症

問42 犬の副腎皮質機能亢進症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 症例の80～90%は下垂体性である。
2. 副腎性の場合、副腎腫瘍からACTHが過剰に分泌される。
3. 副腎腫瘍は90%以上が腺癌である。
4. 下垂体性は5歳齢未満の動物での発症が多い。
5. 臨床症状は主にカテコールアミンの過剰分泌に起因する。

問43 播種性血管内凝固症候群（DIC）における血液検査所見として適当なのはどれか。

1. 血小板数の増加
2. プロトロンビン時間（PT）の短縮
3. 血漿フィブリノーゲン濃度の高値
4. 血清フィブリン分解産物（FDP）濃度の高値
5. アンチトロンビン III（ATIII）活性の上昇

問44 犬の皮膚肥満細胞腫に関する記述として適切なのはどれか。

- a 上皮系腫瘍である。
- b 肺に遠隔転移しやすい。
- c 病理組織学的グレードと予後が相関する。
- d 外科的摘出により根治できる例が存在する。
- e 放射線治療は無効である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問45 猫の好中球性胆管炎に関する記述として適切なのはどれか。

- a 症状の発現は緩徐である。
- b 消化管からの上行性感染が原因とされている。
- c 多くの症例で黄疸がみられる。
- d 胆管内に好中球が浸潤することはまれである。
- e 治療には免疫抑制量のグルココルチコイドの投与が行われる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問46 猫の肝リピドーシスに関する記述として適切でないのはどれか。

1. 削瘦した猫での発症が多い。
2. 大部分の症例で黄疸が認められる。
3. 肝臓の細針吸引細胞診で脂肪滴を含む肝細胞が観察される。
4. 肝臓は腫大していることが多い。
5. 治療として積極的な給餌が重要である。

問47 犬の膵外分泌不全に関する記述として適切でないのはどれか。

1. 膵腺房細胞の萎縮や破壊が原因である。
2. 旺盛な食欲と相反する進行性の削瘦を呈する。
3. 慢性の小腸性下痢がみられる。
4. 血清トリプシン様免疫活性（TLI）の測定が診断に有効である。
5. 治療として脂肪を多く含む高カロリー食の摂取が有効である。

問48 慢性腎臓病（IRIS stage 3）の猫で認められることが多い異常として適切なのはどれか。

- a 代謝性アシドーシス
- b 低カリウム血症
- c 低リン血症
- d 全身浮腫
- e 多血症

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

問49 猫のウイルス性上部気道感染症に関する記述として適当なのはどれか。

- a 原因は猫コロナウイルスである。
- b 老猫での発症が多い。
- c 感染予防に有効なワクチンがある。
- d 二次感染を起こすと抗生物質の投与が必要になる。
- e 激しい咳を主徴とする。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問50 犬で子宮蓄膿症が主に発生する時期として適当なのはどれか。

- 1. 発情前期
- 2. 発情期
- 3. 発情休止期
- 4. 無発情期
- 5. 時期に関係ない

問51 犬の蛋白漏出性腸症で認められることが多い異常検査所見はどれか。

- a 低アルブミン血症
- b リンパ球増多症
- c 血清総胆汁酸濃度の高値
- d 高度の蛋白尿
- e 低コレステロール血症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問52 小腸性下痢では認められるが大腸性下痢ではまれな症状・便の様子はどれか。

1. メレナ（タール状便）
2. ゼリー様粘液
3. 鮮血便
4. 少量頻回の排便
5. しぶり

問53 自然退縮が期待できる犬の皮膚腫瘍はどれか。

1. 皮膚肥満細胞腫
2. 皮膚組織球腫
3. 毛包上皮腫
4. 皮脂腺腫
5. 基底細胞腫

問54 牛の細菌性心内膜炎に関する記述として適切なのはどれか。

- a 僧帽弁が傷害されることが最も多い。
- b 疣贅物形成による弁膜の閉鎖不全が生じる。
- c 血清グロブリン濃度の上昇と A/G 比の低下がみられる。
- d 適切な抗菌薬投与により完治し、予後は良好である。
- e 棒磁石を第二胃へ投与することが予防となる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問55 牛の乳熱の症状または臨床病理所見として正しいのはどれか。

- a 発熱
- b 消化管運動亢進
- c 血糖値低下
- d 血清カルシウム濃度低下
- e 血清リン濃度低下

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問56 乳牛のII型ケトーシスに関する記述として適切なのはどれか。

- a 削瘦した症例が多い。
- b 分娩3～6週後に頻発する。
- c 脂肪肝が原因となる。
- d インスリン抵抗性を示す。
- e 予後は比較的良好である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問57 牛の伝染性乳房炎の原因となる細菌はどれか。

- a *Escherichia coli*
- b *Mycoplasma bovis*
- c *Staphylococcus aureus*
- d *Pseudomonas aeruginosa*
- e *Streptococcus uberis*

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問58 犬の肝臓の超音波検査像に関する記述として適当なのはどれか。

1. 正常な犬の肝臓のエコー源性は脾臓のそれよりも高い。
2. 肝静脈は血管周囲が高エコーに描出される。
3. 肝硬変では肝臓はび漫性に低エコーとなる。
4. 石灰化した胆石の遠位には音響陰影アーチファクトが生じる。
5. 正常な犬では肝内胆管が明瞭に観察される。

問59 X線側方像において気管の腹側変位を認めることが多い疾患・病態はどれか。

1. 前縦隔腫瘤
2. 右心拡大
3. 左心拡大
4. 縦隔気腫
5. 巨大食道

問60 心タンポナーデを示唆する身体検査所見として適当でないのはどれか。

1. 心音増強
2. 頻脈
3. 頸静脈の怒張
4. 股動脈圧の低下
5. 粘膜蒼白

問61 全耳道切除時に損傷しないよう最も注意すべき神経はどれか。

1. 滑車神経
2. 三叉神経
3. 顔面神経
4. 舌咽神経
5. 迷走神経

問62 犬の異所性尿管に関する記述として適切なのはどれか。

- a 壁内性と壁外性がある。
- b 大部分の症例は雄である。
- c 必ず両側性に生じる。
- d 異常尿管は全て尿道に開口している。
- e 膀胱や尿道の機能異常を伴うことが多い。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問63 副腎皮質機能亢進症を伴う副腎腫瘍の摘出を行った犬で、術後に特に注意すべき合併症として一般的でないのはどれか。

1. 副腎皮質機能低下症
2. 血栓塞栓症
3. 腹腔内出血
4. 手術部位感染
5. 痙攣発作

問64 テンションバンドワイヤー法による内固定が適応となる骨折はどれか。

- a 橈骨骨幹部骨折
- b 踵骨隆起骨折
- c 肘頭骨折
- d 大腿骨遠位成長板骨折
- e 上腕骨外側顆骨折

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問65 犬の短頭種気道症候群に含まれない疾患・病態はどれか。

- 1. 外鼻孔狭窄
- 2. 軟口蓋過長
- 3. 喉頭小囊外転（外反）
- 4. 喉頭虚脱
- 5. 喉頭麻痺

問66 中年齢以降の活動的な中～大型犬の肩甲上腕関節において炎症が生じやすい靭帯あるいは腱はどれか。

- 1. 外側関節上腕靭帯
- 2. 内側関節上腕靭帯
- 3. 上腕二頭筋腱
- 4. 棘上筋腱
- 5. 棘下筋腱

問67 犬の外傷性肘関節脱臼で最も多いのはどれか。

1. 外側脱臼
2. 内側脱臼
3. 頭側脱臼
4. 尾側脱臼
5. 背側脱臼

問68 主に雄犬で発生し、雌犬ではまれなヘルニアはどれか。

1. 食道裂孔ヘルニア
2. 横隔膜ヘルニア
3. 臍ヘルニア
4. 単径ヘルニア
5. 会陰ヘルニア

問69 牛の後大静脈血栓症が疑われる症状として適当なのはどれか。

- a 鼻出血
- b 流涎
- c 黄疸
- d 血尿
- e 発咳

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

問70 馬において嚥下障害および鼻孔からの突発性動脈性大量出血を特徴とする疾患はどれか。

1. 副鼻腔炎
2. 咽頭炎
3. 肺気腫
4. 馬胃潰瘍症候群
5. 喉嚢真菌症

問71 牛の人工授精用の精液に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 種雄牛から用手法により精液を採取する。
2. 採取した精液は1次希釈と2次希釈に分けて希釈する。
3. 1次希釈液には卵黄を加えたクエン酸ソーダ液が用いられる。
4. 希釈した精液は専用のストローに分注・密閉して凍結する。
5. 凍結保存精液は35℃程度の温水中に浸漬して融解して用いる。

問72 牛の胚移植に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 過剰排卵処置により採胚する場合はGnRHを3～4日間投与する。
2. 通常、ドナーからの胚の採取は発情後7日目に行う。
3. レシピエントとドナーの発情発現時期のずれの許容範囲は前後1日以内とされる。
4. 通常、胚移植は子宮頸管経由法により非手術的に行う。
5. 胚は黄体存在側の子宮角に移植する。

問73 牛の膣脱に関する記述として適当なのはどれか。

- a 胎子娩出直後に多発する。
- b 膣部のみが脱出し、子宮頸部まで脱出することはない。
- c エストロゲン様物質を多く含む飼料摂取が原因の1つである。
- d 軽度の膣脱では横臥時のみ膣壁が陰唇間に露出する。
- e 治療として水平マットレス縫合により外陰部を完全に閉鎖する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問74 牛の胎盤停滞に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. 長期在胎例では発生率が高い。
- 2. 分娩誘起処置後は発生率が増加する。
- 3. 分娩後2時間以内に胎盤を排出しないものをいう。
- 4. 治療の目的は胎盤排出促進と子宮感染予防である。
- 5. 悪露停滞を継発することがある。

問75 実験動物とその特徴の組合せとして正しいのはどれか。

- | 実験動物 | 特徴 |
|-------------|--------------|
| a シリアンハムスター | ——— 単発情 |
| b 豚 | ——— 交尾排卵動物 |
| c ウサギ | ——— アトロピン抵抗性 |
| d モルモット | ——— 完全性周期 |
| e マウス | ——— 平均寿命約5年 |

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問76 日本で1970年代に実験用ラットを感染源として、ある人獣共通感染症が実験室内流行した。この感染症の病原体と近縁のものが起こす疾患はどれか。

1. リンパ球性脈絡髄膜炎
2. ハンタウイルス肺症候群
3. ブルセラ病
4. マールブルグ病
5. ティザー病

問77 2本鎖RNAウイルスが原因となる魚類の疾患はどれか。

- a ウイルス性腹水症
- b 伝染性脾臓壊死症
- c 伝染性造血器壊死症
- d コイ春ウイルス血症
- e ウイルス性出血性敗血症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問78 1993年に中国産クルマエビ種苗を導入したことにより西日本にまん延した疾患はどれか。

1. イクチオホヌス症
2. 急性ウイルス血症（ホワイトスポット病）
3. リンホシスチス病
4. ビバギナ症
5. ウイルス性神経壊死症

問79 グラム陽性菌を原因とする魚類の疾患はどれか。

- a レンサ球菌症
- b レッドマウス病
- c せっそう病
- d 類結節症
- e 細菌性腎臓病

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問80 甲殻類を原因とする魚類の疾患はどれか。

- 1. 白点病
- 2. 筋肉クドア症
- 3. ヘテロボツリウム症
- 4. カリグス症
- 5. グルゲア症

